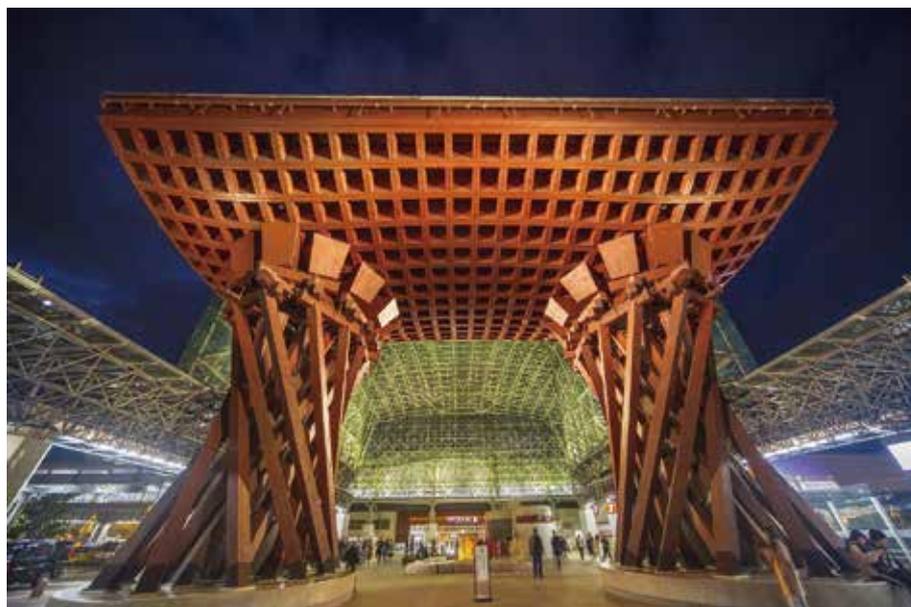


消防試験研究センターだより vol.385

Voice...5

2021



top

危険物取扱プロセスの安全化ーハザードの網羅的抽出に向けてー

こだま

北海道札幌工業高等学校「本校における危険物取扱者試験への取り組み」

支部の広場

石川県支部からお届け



①



②



③



④



表紙によせて

つづみもん

金沢駅鼓門／表紙上段

金沢のシンボルJR金沢駅兼六園口の「鼓門」(つづみもん)と「もてなしドーム」。高さ13.7メートルの「鼓門」は、金沢で盛んな能楽に使われる鼓をイメージしています。「もてなしドーム」は、金沢は雨や雪が多いため「駅を降りた人に傘を差しだすおもてなしの心」をコンセプトに誕生しました。(写真提供：金沢市)

とび

加賀鳶(金沢百万石まつり)／表紙下段

加賀鳶は、江戸時代、加賀前田藩が江戸藩邸に出入りの鳶職人で編成したお抱え消防夫が始まりで、勇猛果敢な活動と華麗な装備で知られました。明治に入り加賀鳶38人が金沢に移り住み、江戸の技と金沢在来の技が融合し今日の姿になりました。各消防団には今も「梯子登り」の伝統が引き継がれ、毎年6月第1土曜日に行われる「金沢百万石まつり」などで勇壮な技が披露されます。(写真提供：石川県観光連盟)

①国立工芸館

令和2年10月に日本海側初の国立美術館となる「東京国立近代美術館工芸館」が金沢市内の兼六園周辺文化の森に移転し、「国立工芸館」として開館しました。建物も、国の登録有形文化財に指定されている旧陸軍第九師団司令部庁舎と旧陸軍金沢偕行社の2棟を活用しており、見どころの一つになっています。(写真提供：石川県)

②金沢城鼠多門

金沢城は、明治2(1869)年まで前田家14代の居城として置かれていましたが、火災によりほとんどが焼失してしまい、平成13年から城郭施設の復元が進められています。「鼠多門」は、城内最大規模の木橋「鼠多門橋」とともに平成27年に工事着手、令和2年7月に供用開始されました。全国の城郭建築では例のない黒漆喰が用いられ、独特の印象を与えています。(写真提供：石川県観光連盟)

③金沢港クルーズターミナル

金沢港クルーズターミナルは、寄港が増加するクルーズ船の拠点として令和2年6月にオープンし、開港50周年を迎えた金沢港の新たなシンボルになっています。緩やかな波型の屋根、白を基調としたガラス張りの外観が印象的で、内部には操船体験等ができる体験ルームやセミナールーム、展望デッキ、レストランがあります。(写真提供：金沢港クルーズターミナル)

④能登の祭り

能登は「奇祭の宝庫」と呼ばれます。これから夏にかけて勇壮なキリコ祭りの数々や祈りの神事など、それぞれに特徴的な祭りが各地で多彩に行われます。写真は、能登町の「あばれ祭り」で、毎年7月の第1金・土曜日に開催されます。(写真提供：石川県観光連盟)

002

top

危険物取扱プロセスの安全化ーハザードの網羅的抽出に向けてー

東京大学名誉教授

田村 昌三

004

こだま

北海道札幌工業高等学校「本校における危険物取扱者試験への取り組み」

尾崎 敦史

北海道札幌工業高等学校 全日制 機械科 教諭

006

支部の広場

石川県支部からお届け

008

業務情報

012

topic

合格体験記

柑本 海人

和歌山県立和歌山工業高等学校 化学技術科3年

高等学校に対する感謝状の贈呈について

015

消防庁の通知・通達等

016

業務報告

2・3月の試験実施結果・免状作成状況

5 Voice...

消防試験研究センターだより

2021 May vol.385



から解析することにより、事故に至る過程に関する情報や事故の再発防止を考える上での知識や教訓を得ることができる。

また、それらを体系的に整理し、事故情報データベースを構築することにより、共用化が可能となり、ハザードシナリオを検討する上での貴重な情報源となろう。

3.2. ヒヤリハットの解析と活用

ヒヤリハットは、なんらかのハザードがあり、起因事象は発生したが、拡大要因がなかったり、事故防止手段が有効に機能し、ハザードシナリオが途中でストップし、事故には至らなかったものである。したがって、このヒヤリハットからもハザードシナリオに関する貴重な情報が得られる。また、ヒヤリハットは、事故には至らなかったある意味では成功体験であり、なぜ事故に至らなかったかを調べることにより事故防止のための貴重な知識、教訓が得られる。ヒヤリハットは事故と異なり多くの事例があるのでそれらを解析し、体系化してデータベースが構築できれば共有化が可能となり、ハザードシナリオ抽出の貴重な情報源となる。

3.3. ハザードの網羅的な抽出について

危険物取扱プロセスにおける潜在的なハザード抽出のためには事故事例やヒヤリハット事例に加えて、まず、安全活動からのハザード抽出がある。

危険物取扱プロセスの安全化のため5S、相互注意活動、安全パトロール等種々の安全活動が展開されており、幅広い視点で取扱いプロセスを見ることによりいままで気づかなかったハザードを見つけることが可能となる。

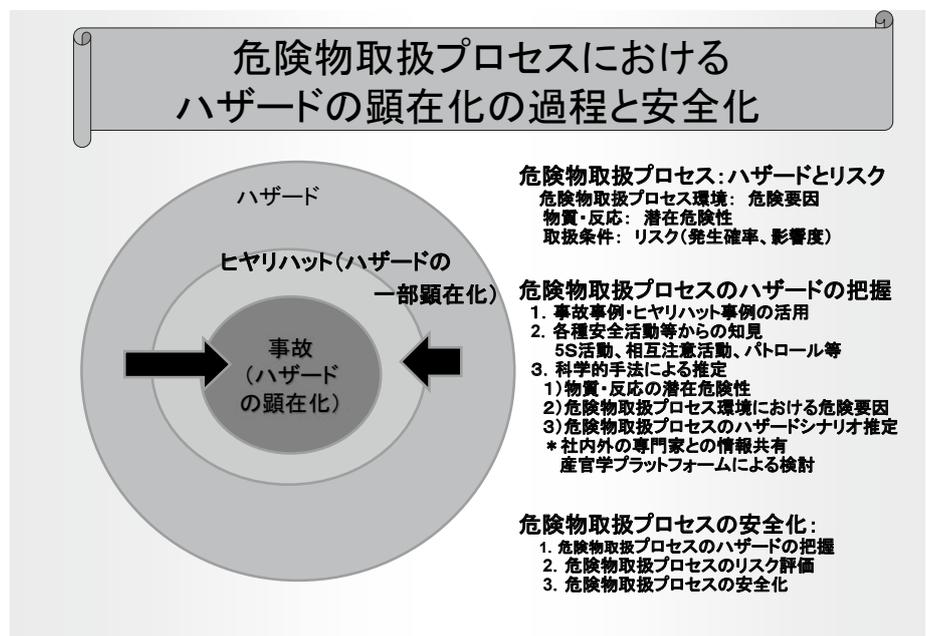
次に、科学的知識からのハザードの抽出である。これは危険物の特性（発火・爆発危険性）、危険

物取扱プロセス環境に存在する危険要因、危険物の取扱い条件から、起こり得る可能性のあるハザードシナリオを推定することである。これには専門的な知識を必要とするため、自社内の専門家、場合によっては社外の専門家の協力が必要となる。

いずれにしても危険物取扱プロセスの安全化のためにはハザードの網羅的な抽出は必須の課題であり、産官学によるプラットフォームを構築し、ハザードの網羅的な抽出について検討し、ハザードの体系化と共有化を図ることが望まれる。

4 おわりに

危険物取扱プロセスの安全化を図るため、危険物取扱プロセスの安全化について述べ、そのもっとも重要なステップであるハザードの網羅的な抽出について考察した。ハザード抽出のためには、事故事例やヒヤリハット事例を体系化し、有効に活用するとともに、安全活動からのハザードの抽出、専門家による科学的知識の活用が重要であり、ハザード抽出に関する専門家による検討の場ができ、体系化と共有化が進展することが期待される。





北海道札幌工業高等学校

本校における危険物取扱者試験への取り組み

尾崎 敦史 (おざき あつし)
北海道札幌工業高等学校
全日制 機械科 教諭

1、学校の概要

札幌市は北海道の道庁所在地であり、北海道道央地区に位置する人口約196万人の政令指定都市です。本校はその札幌市に大正5年10月、採鉱科、機械科、木工科を有する北海道庁札幌工芸学校として設立が許可され、藻岩山のふもとで発足しました。

大正9年には道内初の工業学校として北海道庁立札幌工業学校と校名を改め、幾多の変遷を経て昭和23年には戦後の学制改革により北海道立札幌工業高等学校となり、定時制課程を統合しました。昭和25年には商業科を併設し北海道伏見高等学校と校名を改めましたが、昭和30年の商業科分離に伴い、工業科単置校の北海道札幌工業高等学校となりました。

昭和51年には山鼻の地から札幌市北区にある北海道大学すぐ近くの現在の校舎に移転し、全日制課程は、機械科、電気科、建築科、土木科の4科8間口、定時制課程は機械科、電気科、建築科の3科3間口の工業高校として、平成28年には創立100周年を迎え卒業生は3万人に余る人材を輩出し、地元北海道はもとより、いろいろな地域で貢献できる人材の育成に力を注いでおります。

2、本校の取り組み

本校は創立以来の校訓「重厚堅実」を掲げ、技術や能力のみならず、高い人間性を有することを求め、校歌に謳われている「去華就実」の精神で、華美に流されず実のある人間の育成を目指して、「ものづくり」とおした「人づくり」教育に励んでおります。

本校の取り組みとしては、インターンシップ（就業体験）や工場見学などを行い、实际的な知識・技術・技能に触れることによって生徒の進路意識や勤労観・職業観の育成を行うほか、北海道教育委員会が推進する実践的職業教育推進事業「専門高校フューチャープロジェクト」の研究指定校として、将来の北海道産業を支える人材の育成を目指し、大学や企業と連携し、地域産業の課題解決に必要な資質・



能力を育成するための実践研究に取り組んでおります。

また、各科においてはそれぞれの分野で高校生ものづくりコンテストや若年者ものづくり競技大会など、工業高校で学んだ技術を競う各種大会へも積極的に参加し、機械科では高校生ものづくりコンテスト(旋盤作業)全国大会出場、電気科では若年者ものづくり競技大会電気工事職種出場、建築科では高校生ものづくりコンテスト木材加工部門全国大会3位入賞、若年者ものづくり競技大会出場、土木科では高校生ものづくりコンテスト測量部門全国大会3位入賞など、各科ともに実践的な指導に力を入れ成果を上げています。



部活動では、運動系の部活としてボクシング部やバスケットボール部、陸上部、ソフトテニス部、柔道部など、全道大会や全国大会に出場し多くの生徒が活躍しています。工業系部活では、メカ技巧部が全国高等学校ロボット競技大会で5位入賞を果たしております。

3、本校の資格取得の取り組み

本校の生徒は、専門教科で学んだ知識を活かし自分の将来を考え、多くの資格に挑戦しております。各科によって取得する資格は違いますが、代表的な資格は以下の通りです。
〈機械科〉

危険物取扱者（乙種1～6類、丙種）、計算技術検定（1～3級）、情報技術検定（1～3級）、2級ボイラー技士、ガス溶接技能講習、技能士（普通旋盤2～3級）、製図検定（基礎・機械）、品質管理（QC）検定など

〈電気科〉

危険物取扱者（乙種1～6類）、計算技術検定（1～3級）、パソコン利用技術検定（2・3級）、第三種電気主任技術者、工事担当者DD第3種、電気工事士（第1・2種）、消防設備士（甲種1～5類・乙種6、7類）、陸上特殊無線技士2級、2級電気工事施工管理技術検定、情報技術検定（1～3級）など

〈建築科〉

危険物取扱者（乙種1～6類）、計算技術検定（1～3級）、パソコン利用技術検定（2・3級）、2級建築施工管理技術検定、初級CAD検定（建築系）、建築積算士補、技能士（建築大工2～3級）、玉掛・小型移動式クレーン等技能講習など

〈土木科〉

危険物取扱者（乙種1～6類、丙種）、計算技術検定（1～3級）、情報技術検定（1～3級）、パソコン利用技術検定（2・3級）、2級土木施工管理技術検定、測量士補など

4、本校における危険物取扱者試験への取り組み

本校は過去に比べ合格率、全類合格者数は減少傾向にあります。このことを踏まえ各科においては、これまで乙種第4類の全員受験を行っていたものを、丙種の全員受験に切り替えたり、個別対応による指導の充実を図っています。理由としてはしっかりと基礎を学ぶこと、初めての国家試験を受験するにあたっての準備や学習の方法を学ぶこと、さらには合格をすることにより資格試験を受験することへの苦手意識克服や国家資格保持者として自己肯定観の向上を図ることを考えました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対応などにより受験の時期を3月実施の第9回の受験に目標変更し、放課後なども利用して4か月前より市販のテキストや自作のプリントを用い危険物に関する内容の理解を深めてきました。また、本校で今まで積み重ねてきた指導方法や模擬問題での試験に対する実践的な演習を行いながら理解を深める指導を行いました。

また、全員で受験を行うことによって、共通する1つの目標に向かって互いに切磋琢磨し合い、上位資格である乙種第4類や乙種全類への挑戦に意欲的になるなど、相乗効果も期待できることから今後もそのような指導を継続したいと考えております。

5、最後に

北海道札幌工業高等学校は、平成28年に100周年を迎え、数多くの卒業生を輩出してまいりました。現在も進路決定100%を目標とし、達成しております。就職をするにも、進学をするにも資格というものはとても大切になります。危険物取扱者試験に関しましては、合格率の減少など課題はありますが、一人でも多くの生徒に取得してもらえよう、これからも指導方法の研究をしていきたいと考えております。





支部の広場

石川県支部からお届け

はじめに (石川県の概要)

石川県は、日本のほぼ中央に位置し、北は能登半島となつて日本海に突出しています。南北に細長い地形をしており、加賀百万石の歴史や風土に培われた伝統文化・芸能をはじめ、四季折々の風情を奏でる自然景観、心温まる温泉とおもてなしの文化、豊かな食材や地域に根差した祭りなど多彩な魅力にあふれています。

中でも、藩政時代から続く金箔や漆塗りをはじめとする伝統工芸品の数々とその技術は、工芸王国石川の名に恥じない大きな魅力となっています。昨年10月には、工芸振興のナショナルセンターとして国立工芸館が東京から金沢に移転、開館され、質の高い展示や情報発信を通じ、その魅力がさらに深まりました。

また、石川県の食文化は、これぞ全国に誇る最大の魅力とと思っている県民も多く、雅で豪華な加賀料理はもちろんのこと、庶民的な料理も大変魅力的です。県民に昔から愛されてきた車麩や梅貝、甲箱蟹(メスのズワイガニ)を用いた「蟹面」等石川ならではの「おでん種」を用いた「金沢おでん」や、豊富で新鮮な魚介類を磨かれた職人技で握る寿司は、テレビ等で全国に知られるようになり、観光客にも大好評です。

石川県の発展に大きな効果をもたらした北陸新幹線金沢開業から6年が経過しました。コロナ禍により現在は観光客数も小休止の状況ですが、国立工芸館をはじめ、金沢城公園「蟹多門」、金沢港クルーズターミナル、和倉温泉お祭り会館などの新しい施設が整備され、これまでも増して奥深い石川県の魅力に触れていただけるようになりました。一刻も早い新型コロナウイルス感染の収束と全国の皆様のご来県が待たれます。

支部の状況

石川県支部は、金沢市内中心部のオフィス街を少し外れた民間ビルの7階にあります。金沢駅からは徒歩15分ほどの距離で、近くには金沢市民の台所として名高い「近江町市場」があり、連日県民や観光客で賑わっています。また、裏通りには町屋が点在し、金沢らしい風情を感じることができます。

入居ビルは、築46年を経過した古い建物で、多少不便な面もありますが、改修が重ねられて割合快適なオフィス環境が確保されています。ただ、駐車場が地下の機械式であることから、お車でお越しのお客様には、ご不便をおかけしています。この地下駐車場は通常は有料ですが、当支部カウンターにて駐車券にスタンプを押印させていただくことで、

無料でご使用いただけるものです。

当支部の業務は、支部長と職員2名の3名体制で行っており、繁忙時にはパート職員を雇用することもあります。職員一同、受験を希望される皆様や免状交付を申請される皆様の立場に立った懇切、丁寧な対応と厳正な事務処理に心がけています。

新型コロナウイルス感染症対策に関しては、昨年2月の危険物取扱者試験では、石川県は全国的にも早い段階で感染者が見つかり、しかも試験日直前であったことから、感染対策等の前例が十分でない中での試験となりましたが、県や本部と協議しつつ、職員間で感染防止対策のアイデアを出し合い、力を合わせて試験を実施したことが思い出されます。

令和2年度は、感染防止対策のより一層の向上に努めたところであり、このため受験日や試験時間帯、試験会場の変更など、受験者の皆様には度々ご迷惑をおかけいたしました。ご協力に感謝申し上げますとともに、本年度も対策に万全を期してまいりたいと考えていますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

試験業務の概要

【危険物取扱者試験】

当支部では、受験を希望される皆様により多くの受験機会を持っていただくため、令和元年度から危険物取扱者試験の実施回数を年3回から4回に増やし、各回とも金沢、小松・加賀、七尾、輪島の4会場で実施しています。

試験会場は、主に県や市の公共施設のほか、輪島の試験では日本航空学園を会場にしています。各施設のご理解、ご協力によりほぼ毎回同じ施設を使用することができており、安定した試験の実施、運営につながっています。

受験申請者数は、平成22年度から減少傾向が続いていますが、令和元年度は試験回数増により若干増加しました。高校生の受験申請者は、平成27年度までは2千人台でしたが28年度からは1千人台で推移しています。

令和2年度の受験申請者数は、特定試験を含めて4,577人で前年度より747人減少しましたが、コロナ禍にあって受験を手控えられた方が多かったものと推測しています。

■表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般	3,856	3,477	3,433	3,594	3,161
高校生	1,721	1,853	1,879	1,730	1,416
合計	5,577	5,330	5,312	5,324	4,577
高校生割合	30.9	34.8	35.4	32.5	30.9

※特定試験受験申請者を含む。

【消防設備士試験】

消防設備士試験については、平成29年度に実施回数を年2回から3回に増やしました。その結果、平成29年度と30年度は受験申請者が若干増加しましたが、令和元年度は平成28年度の受験申請者数を下回りました。

令和2年度の受験申請者数は1,771人で、ほぼ前々年度並みの数字に戻りましたが、令和2年3月の試験でコロナ禍による振替受験者が多数出たことが、令和元年度の減少、2年度の増加に影響したものと考えています。

■表2 消防設備士試験受験申請者数の推移

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般	1,506	1,624	1,564	1,442	1,631
高校生	146	167	179	131	140
合計	1,652	1,791	1,743	1,573	1,771
高校生割合	8.8	9.3	10.3	8.3	7.9

※特定試験受験申請者を含む。

【特定試験】

特定試験は、高校、大学、消防学校等で実施しています。平成元年度からは、概ね20人以上の受験者があれば、各々の学校等のご要望に応じた日時に実施する柔軟な方針に変更しており、平日の放課後に実施した学校もあります。

令和2年度は、危険物取扱者試験、消防設備士試験とも前年度を上回る回数数の特定試験を実施することができました。受験申請者数は、危険物取扱者試験では減少しましたが、消防設備士試験は大きく増加し、お取り組みいただきました学校等関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

特定試験の普及、促進は、受験機会の拡大や受験者の利便向上につながるものであり、当支部では、引き続き関係の皆様方への働きかけに努めてまいりたいと考えています。また、新たに実施を検討されている学校等関係者の皆様方には、是非一度ご相談ください。

■表3 特定試験の推移

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	危険物	設備士	危険物	設備士	危険物	設備士	危険物	設備士	危険物	設備士
実施団体数	11	2	10	3	10	2	12	4	12	6
実施高校数	7	2	5	3	6	2	7	2	7	4
実施回数	23	3	23	4	22	2	24	6	27	9
申請者数	1,675	55	1,730	134	1,818	112	1,638	135	1,390	228

※「実施高校数」は「実施団体数」内数。

○ 免状業務の概要

最近5年間の免状交付状況は表4のとおりです。

写真の書換えについては、免状交付後10年を経過した有資格者にお知らせはがきをお送りしています。令和2年度は、その内の2割強が宛先不明で返戻されましたが、はがきが届いた方の約3割から書換え申請があり、一定の効果があったものと考えています。

さらに、危険物取扱者保安講習等の場面に職員が出向き、書換え手続等の説明や申請書の交付を行っており、協会の機関誌でも広報いただくなど、書換え手続の一層の促進に努めています。

■表4 免状業務の推移

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
危険物取扱者	新規交付	2,027	1,993	2,196	2,071	1,651
	写真書換え等	1,409	1,512	1,537	1,772	1,552
	計	3,436	3,505	3,733	3,843	3,203
消防設備士	新規交付	477	396	495	486	460
	写真書換え等	300	314	294	290	247
	計	777	710	789	776	707
合計	4,213	4,215	4,522	4,619	3,910	

○ 終わりに

令和2年度はコロナに始まりコロナで終わるといふ、これまでにない大変な1年になりました。試験日や試験会場の変更、試験日の振替等いろいろご迷惑をおかけした1年でしたが、受験者の皆様をはじめ試験会場施設、試験監督員の皆様方のご協力により、全ての試験を無事終了することができました。改めて感謝申し上げます。

危険物取扱者及び消防設備士は、安全確保のために不可欠な資格で、経済活動においても極めて必要性の高いものです。今後、その役割はさらに重要性を増すものと考えられ、コロナ禍が収束しない状況にあっても、その資格を得るための機会が失われることがあってはなりません。

当支部では、今後とも受験を希望される皆様方が希望の時期に1人残らず受験いただけますよう、適切な試験日程や会場の確保等に努め、皆様のご期待にお応えしてまいりたいと考えています。

一刻も早い新型コロナウイルス感染の収束を願うとともに、皆様の資格取得に向けた積極的なチャレンジをお待ちしています。

令和3年度事業計画

1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で実施する。

危険物の種類	甲種	乙種	丙種	合計
試験実施予定回数	342回	3,007回	451回	3,800回
受験申請者見込み	21,700人	299,600人	28,700人	350,000人

(2) 消防設備士試験を全都道府県で実施する。

設備士の資格	甲種	乙種	合計
試験実施予定回数	715回	855回	1,570回
受験申請者見込み	50,600人	49,400人	100,000人

(3) 予防技術検定を全都道府県で実施する。

年1回・全都道府県同一日（12月実施予定）に実施し、受験申請者見込みは9,500人

(4) 危険物取扱者及び消防設備士試験のインターネットによる電子申請の普及促進を図る。

電子申請者数（令和2年4月～令和2年12月の実績）は、受験申請者数の34.9%

2 免状事業

(1) 都道府県知事の委託を受け、次の業務を実施する。

- ア 新規、書換え（写真書換えを含む）及び再交付免状の作成
- イ 写真書換え未了者へのお知らせ

(2) 都道府県の要請を受けて、免状データベースに講習履歴情報を収録する。

免状作成等の事務処理件数見込み

（単位：件）

区分	新規交付	書換え		再交付	合計
		写真	写真以外		
危険物取扱者	134,000	125,000	1,600	9,600	270,200
消防設備士	26,800	13,400	200	900	41,300
合計	160,800	138,400	1,800	10,500	311,500

※書換え（「写真」以外）については、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

3 企画研究事業

(1) 新業務情報システムについて

令和3年3月に運用を開始した新業務情報システムの円滑な稼働に努めるとともに、国の行政手続のオンライン化の方向性を踏まえ、利用者の利便性の向上や業務のより一層の効率化に向け検討を進める。

(2) 「受験しやすい環境づくりモデル事業（第Ⅱ期）」について

ア 令和元年度から3か年度で実施する予定であった「受験しやすい環境づくりモデル事業（第Ⅱ期）」は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度の実施を見送ったため、令和4年度までの計画として、次の事業を実施する。

① 工業高校等対策

- 工業高校等教諭との意見交換会を開催し、高校における特定試験の促進・個別高校対策を実施する。
- 意見交換会への地元企業（採用担当）の参加を促し、資格取得の有用性を訴える。

② 消防職員、大学、自衛隊対策

- 消防職員を対象とした都道府県消防学校等における特定試験の実施を拡大する。
- 理工系大学の特定試験の実施を拡大する。
- 自衛隊の特定試験の実施を拡大する。

イ 年度末に実施結果の報告を受け検証を行い、次年度の事業に反映させる。

(3) 学校及び教諭等に対する感謝状の贈呈について

高校生危険物取扱者や消防設備士の資格取得に積極的に取り組まれている学校や教諭等に対し、その尽力をたたえ表彰する。

(4) 個人情報保護について

個人情報取扱事業者として、個人情報の厳格な取扱い、管理・監督の更なる徹底を図る。また、個人番号等の特定個人情報の適切な取扱いを行い、安全管理措置等の安全対策を実施する。

(5) 広報事業について

次の広報事業を実施する。

ア 資格制度に関する広報

「試験・検定のご案内パンフレット」の他、広報ターゲットを明確にした「大学生及び高校生向け受験促進パンフレット」、「資格試験広報ポスター」、「写真書換え啓発ポスター」を作成するとともに、高校、高専、大学、専門学校、事業所、都道府県及び消防機関等に配布し資格制度の周知を図る。

また、各種イベントでの広報や消防関係専門誌・教育関連の新聞等に広報記事を掲載することにより、資格取得や免状書換え等の周知を図る。

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」の発行

危険物施設等に係る災害事故等の防災対策の研究成果や現状、防火防災に関する取組等について学識経験者や研究者による解説並びに受験合格者による体験談等を掲載し、誌面の充実に努める。

また、高校、高専、大学、専門学校、都道府県及び消防機関等に配布するとともに、当センターのホームページにも掲載する。

ウ ホームページの活用

① 電子申請の案内

試験の受験申込方法としてインターネットによる電子申請を導入しており、その利用手続きの案内、受験申込みを掲載する。

② 試験関連情報の提供

危険物取扱者・消防設備士の役割、全国の試験実施日程、受験案内等を掲載する。

- ③ 合格者受験番号の掲示
合格発表の公示日の正午からホームページ上に合格者の受験番号を掲示する。
- ④ 緊急情報の提供
台風・地震等の自然災害や新型コロナウイルス感染症等への対応による試験の延期や中止が生じた場合、受験者に対する緊急情報としてその情報を迅速に掲載する。
- ⑤ 過去に出題された問題の公開
危険物取扱者及び消防設備士として習得すべき知識、技能の目安を示すことを目的に、過去に出題された問題の一部を掲載する。
- ⑥ 免状関連情報の提供
危険物取扱者及び消防設備士の免状の新規交付、本籍等の書換え、写真書換え及び再交付の申請手続き等について掲載する。

(6) 統計について

「令和2年度版危険物取扱者・消防設備士 試験・免状統計表」を作成し、消防庁及び都道府県等に配布する。

4 その他事業

- (1) 支部（実地）監査を10支部で、その他の36支部では自己点検方式による補完監査を実施する。
また、公認会計士による外部監査を2支部で実施する。
- (2) 試験業務及び免状業務の円滑な執行を図るため、全国支部長会議、ブロック幹事支部長会議を東京で開催するとともに、各都道府県消防主管課の出席を得て、全国6か所でブロック支部長会議を開催し、業務説明及び意見交換を行う。
- (3) 消防防災推進事業助成を76事業に対して行う。
- (4) 新任支部長・副支部長研修、職員を対象とする研修等を実施する。

令和3年度収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	15,300	16,400	△ 1,100	
② 特定資産運用収入	50	50	0	
③ 試験手数料収入	2,157,900	2,225,400	△ 67,500	
④ 免状受託料収入	524,100	516,200	7,900	
⑤ 雑収入	30,750	1,350	29,400	
事業活動収入計	2,728,100	2,759,400	△ 31,300	
2 事業活動支出				
① 試験事業費支出	2,147,700	2,174,600	△ 26,900	
② 免状事業費支出	492,500	511,100	△ 18,600	
③ 管理費支出	99,900	89,600	10,300	
事業活動支出計	2,740,100	2,775,300	△ 35,200	
事業活動収支差額	△ 12,000	△ 15,900	3,900	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	55,300	557,200	△ 501,900	
投資活動収入計	55,300	557,200	△ 501,900	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	41,800	41,300	500	
② 固定資産取得支出	20,100	527,900	△ 507,800	
③ 敷金・保証金支出	800	0	800	
投資活動支出計	62,700	569,200	△ 506,500	
投資活動収支差額	△ 7,400	△ 12,000	4,600	
III 予備費支出	30,000	30,000	0	
当期収支差額	△ 49,400	△ 57,900	8,500	
前期繰越収支差額	250,000	650,000	△ 400,000	
次期繰越収支差額	200,600	592,100	△ 391,500	

業務
情報

information

トピック topic

危険物取扱者試験甲種取得を目指して

「甲種危険物取扱者試験目標のきっかけ」

まず、私が危険物取扱者を目指したのは、中学三年の頃に和歌山工業高校のパンフレットで危険物取扱者という資格がほとんどの学科で取られていたため、【ほとんどの学科で取られているということはだいたいの工業系の仕事で必要になる】と思ったからです。私が本格的に危険物取扱者について知ったのは高校一年の授業でした。その授業では始めに危険物取扱者とはどのような資格で何ができるか、危険物取扱者には丙種、乙種第1～6類、甲種の8種類があり化学技術科一年生は丙種、二年生は乙4の授業を受けてから受験をすること、甲種には受験条件があり問題も最も難しく和歌山工業高校でも一年間で一人くらいしか取得していない等を教えて頂きました。それを聞き私はそこまで難しいと言われていた甲種に対して強い興味を惹かれたため甲種を卒業までに取ることを目標にしました。

「丙種危険物取扱者試験に向けて」

初めて丙種を勉強した時は知らない単語等が多くあり自分に出来るか不安でしたが、何回も問題を解いていくうちに理解出来るようになりました。丙種の試験は2月くらいに受けるのですが、私は甲種を目指していたため、【他の生徒よりも早くに丙種を取得し乙4の勉強をしたい】と思い11月の試験を受けることにしました。申請してから受験までの1ヵ月くらいの期間は先生からもらった模擬問題を解き間違ったところは消してまた解く等の勉強方法をしていました。本番の試験は今までやってきたどの模擬問題よりも難しく全く見たことがない単語等も少し出てきたため、【内心ギリギリの点数かな】と思っていました。しかし、結果が返ってくるとなんと全問正解しており、凄く嬉しかったです。そしてすぐに免状の交付を申請して免状を貰いました。その時は人生初の免状だったため凄く嬉しくて、しばらくの間免状を眺めていました。

「乙種第4類試験に向けて」

丙種を合格した後、すぐに私は乙4の勉強をするため、近くの本屋で乙4のテキストと問題集を買いました。テキストは部活の先輩が使っていたもの、問題集は乙4のテキストの近くにあったものを買いました。はじめは軽



柑本 海人 こうじもと かいと

和歌山県立和歌山工業高等学校
化学技術科3年

く本を読みどのあたりが丙種と違うのかを確認していました。1月からはノートにテキストの内容を自分が分かるように写したり、模擬問題をして勉強しました。乙4の問題は問題文ですら少し難しい言葉使いでしたが、私が合格した丙種は乙4の一部を取り扱える資格だったため、いきなり乙4を受けるよりも難易度が下がっているように感じました。乙4の試験は2月に受けました。乙4の試験は丙種の試験と異なり四択から五択になっていたり、物理・化学というものが新たに入っていたりしましたが、丙種の時のように見たことがない単語や問題は出てこなかったため少し自信がありました。結果を見ると見事合格しており、また性質に至っては100点だったためとても嬉しかったです。

「乙種全類取得に向けて」

乙4を合格した後、私はすぐにそれを先生に報告しました。そして、先生に次は何類を取ろうかを相談し、乙3・乙5・乙6の三種類を同時受験することを決めました。まず始めは、乙3を勉強しました。理由は乙3の物質には、ナトリウムやカルシウム等聞いたことがある物質がたくさん入っていたため、勉強しやすいと思ったからです。乙3の勉強は、カルシウムやナトリウム等生活でよく聞く物質の性質を知れたので個人的に面白かったです。

次は乙5の勉強をしました。乙5を勉強して思ったのは、【実際に取り扱うのが一番怖そうな物質だな】ということです。なぜなら、乙5の物質は大部分が元々酸素をもっているため熱源さえあればすぐに燃烧したり、不安定な物質も多いため衝撃を与えるだけでも爆発したり、そもそも燃烧速度が速かったり他の性質よりも危険要素が多かったためです。最後に乙6を勉強しました。乙6は危険物の中で一番数が少なかったのですが覚えることが出来ました。また乙6の物質は私の常識を覆す性質の物質が沢山ありました。例えば過酸化水素は酸化剤に

も還元剤にも使われていたり、硝酸を入れる容器は薄い硝酸には溶けるが濃い硝酸には皮膜が発生して逆に溶けない等です。そして7月後半にこれらの三種類の試験を受験しました。試験を受けた時、一番不安だった乙5はその分勉強していたためある程度の自信を持って書けましたが、あまり苦手意識がなかった乙3が一番難しく、【乙3は落ちたかもしれない】と思い、試験が終わった後もずっとそれが気になっていました。しかし、結果が返ってくると三種類どれも合格していたため安心しました。

私は乙3・5・6の試験の10日後に乙1・2を受けました。別に乙3・4・5・6さえ持っていれば甲種は受験出来るのに私が乙1・2を受けた理由は3つあります。1つ目は危険物取扱者の免状は8つの空欄がありそれぞれの資格を取ること空欄が埋まっていくため、乙1・2を取らずに甲種を取ると乙1・2の部分が一生空欄になってしまい、個人的に【なんかもったいないな】と思ったからです。これが一番の動機です。2つ目は甲種の試験に向けて乙1・2も勉強するため【どうせ勉強するなら取ろう】と思ったからです。3つ目は将来危険物を取り扱う際、甲種を取っているのみでは乙1・2の性質をしっかりと勉強できているか不安になりそうだったからです。以上の3つの動機でこの乙1・2を受験しました。乙1は、始めは物質が多いため覚えるのが難しいと思っていましたが似たような性質の物質も多かった所以他とは異なる性質を覚えるようにしました。乙2は元々知っている物質があったり、性質が分かりやすかったので勉強しやすかったです。10日で2つの資格を勉強するのは大変でしたがなんとかある程度の自信を持てるぐらい理解することが出来ました。試験では乙1がもしかしたら落ちたかもと不安でしたが結果を見ると合格していたためホッとしました。

「最難関甲種取得に向けて」

次はとうとう目標の甲種を勉強しました。始めに驚いたのは甲種のテキストの大きさです。その厚さは私が持っている英和辞典と同じで、表紙がそれよりも大きかったからです。しかし、私はそれを見たとき【これだけの知識を頭に入れることが出来ればきっと自分に自信を持てるだろう】と思いました。始めに法令を勉強しました。法令は、やはり乙4の時よりも覚えることが多く、特に乙4以外の危険物の指定数量を覚えるのが難しかったです。物理化学も乙4の時よりもレベルが上がっていました。しかし、個人的にイオン化傾向や官能基等を覚えることが出来たので一番面白かったです。性質はすでに、乙種を全種類勉強していたので、音読をして軽く書く等をし

ていました。そして、本試験の一週間前にもらった模擬問題に初めて手をつけました。そこで、私は絶望しました。その問題で、私は合格点を取れていなかったからです。私は今まで危険物の模擬問題で数回しか不合格にならず、しかもどれも単なるケアレスミスでした。しかし、その模擬問題では知らない問題がたくさんありました。そこで、私は甲種の壁というものを感じました。しかし、その後いつまでも弱気ではいけないと思い私は今まで以上に努力を続けました。その結果、本試験では自信を持ち、落ち着いて試験に挑むことが出来、無事合格することが出来ました。

「最後に」

入学当初は、あまり自分に自信が持てず悩んでいた私ですが、甲種を合格したことで【自分は努力を怠らずに、コツコツと頑張った甲種まで取れたんだ】と自分に自信を持つことが出来ました。これらの経験をこれからの生活でも活かして行きます。最後に、私の体験が次に資格を取る人の参考になれば幸いです。



高等学校に対する感謝状の贈呈について

一般財団法人消防試験研究センターは、令和2年度危険物取扱者及び消防設備士の資格取得に積極的に取組まれ、多くの生徒を合格に導かれている高等学校に対し、そのご功績をたたえ、感謝状を贈呈することといたしました。

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の当該高等学校における受験申請者数や合格率等を考慮して該当校を決定しております。令和2年度感謝状を贈呈された高等学校は下表のとおりです。

都道府県	感謝状贈呈校
北海道	北海道函館工業高等学校 様
青森県	青森県立八戸工業高等学校 様
岩手県	岩手県立一関工業高等学校 様
宮城県	宮城県石巻工業高等学校 様
秋田県	秋田県立男鹿工業高等学校 様
福島県	福島県立勿来工業高等学校 様
栃木県	栃木県立那須清峰高等学校 様
千葉県	千葉県立清水高等学校 様
東京都	国立大学法人東京工業大学附属科学技術高等学校 様
神奈川県	神奈川県立磯子工業高等学校 様
新潟県	新潟県立上越総合技術高等学校 様
富山県	富山県立滑川高等学校 様
石川県	石川県立羽咋工業高等学校 様
福井県	福井県立武生工業・商工高等学校 様
長野県	長野県長野工業高等学校 様
岐阜県	岐阜県立岐阜工業高等学校 様
愛知県	大同大学大同高等学校 様
三重県	三重県立松阪工業高等学校 様
滋賀県	滋賀県立彦根工業高等学校 様
兵庫県	兵庫県立兵庫工業高等学校 様
奈良県	奈良県立王寺工業高等学校 様
和歌山県	和歌山県立箕島高等学校 様
鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校 様
島根県	島根県立浜田水産高等学校 様
岡山県	岡山県立岡山工業高等学校 様
山口県	山口県立宇部工業高等学校 様
徳島県	徳島県立徳島科学技術高等学校 様
香川県	香川県立石田高等学校 様
高知県	高知県立須崎総合高等学校 様
福岡県	福岡県立福岡工業高等学校 様
佐賀県	佐賀県立鳥栖工業高等学校 様
長崎県	長崎県立大村工業高等学校 様
熊本県	熊本県立八代工業高等学校 様
大分県	大分県立大分工業高等学校 様
宮崎県	宮崎県立延岡工業高等学校 様
鹿児島県	鹿児島県立出水工業高等学校 様
沖縄県	沖縄県立那覇工業高等学校 様

消防庁の通知・通達等

◆東京都新宿区における二酸化炭素消火設備の放出事故を受けた注意喚起について

消防予第187号 令和3年4月15日

消防庁予防課長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あて

要旨

本日、東京都新宿区において、二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備（以下「二酸化炭素消火設備」という。）から何らかの理由で二酸化炭素が放出され、死者4名、負傷者2名を出す事故が発生しました。これまで、消防庁においては、昨年12月の愛知県名古屋市や本年1月の東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生を踏まえ、「二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」（令和2年12月23日付け消防予第410号。以下「410号通知」という。別添1参照）及び「東京都港区における二酸化炭素消火設備の放出事故の発生について」（令和3年1月28日付け消防予第22号。以下「22号通知」という。別添2参照）により安全対策の徹底をお願いしているところです。

本日の事故の原因については、関係機関による調査が行われており、現時点では明らかとなっていませんが、類似の事故発生を防止するための当面の対応として、410号通知及び22号通知の内容のほか、下記の事項について、建物関係者に対し、注意喚起を行っていただくようお願いします。

各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県内の各市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、この旨周知していただけますようお願いいたします。

なお、このことについては、一般財団法人日本消防設備安全センター、一般社団法人日本消防装置工業会及び公益社団法人立体駐車場工業会に対し、それぞれ別添3、別添4及び別添5のとおり通知していることを申し添えます。

記

- 1 二酸化炭素消火設備が設けられている付近で工事等が行われる場合は、誤作動や誤放出（以下「誤作動等」という。）を防止するため、第三類の消防設備士又は二酸化炭素消火設備を熟知した第一種の消防設備点検資格者が立ち会って監督を行うことにより、必要な安全対策の管理がなされる体制を確保すること。
- 2 二酸化炭素消火設備が設けられている付近で工事等を開始する際は、その都度、当該工事等の従事者に対し、消火剤が放出されないよう閉止弁を閉止する等の措置を講じた上でなければ当該工事等を開始しないなど、必要な安全対策の内容について説明し、当該安全対策の確実な履行を徹底すること。

別添1、別添2、別添3、別添4、別添5 略

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。
<http://www.fdma.go.jp/>

業務報告

2月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	3,061	1,182	38.6
乙種第1類	1,205	887	73.6
乙種第2類	1,238	903	72.9
乙種第3類	1,372	1,000	72.9
乙種第4類	31,024	11,001	35.5
乙種第5類	1,418	1,037	73.1
乙種第6類	1,557	1,117	71.7
乙種計	37,814	15,945	42.2
丙種	3,165	1,658	52.4
合計	44,040	18,785	42.7

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、青森、宮城、秋田、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、三重、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、島根、岡山、広島、徳島、香川、愛媛、福岡、佐賀、熊本、宮崎、沖縄

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	122	41	33.6
甲種第1類	768	240	31.3
甲種第2類	282	90	31.9
甲種第3類	286	117	40.9
甲種第4類	1,739	662	38.1
甲種第5類	249	115	46.2
甲種計	3,446	1,265	36.7
乙種第1類	383	158	41.3
乙種第2類	90	38	42.2
乙種第3類	128	41	32.0
乙種第4類	1,326	433	32.7
乙種第5類	188	79	42.0
乙種第6類	2,093	867	41.4
乙種第7類	727	392	53.9
乙種計	4,935	2,008	40.7
合計	8,381	3,273	39.1

□消防設備士試験実施支部等

北海道、青森、岩手、宮城、埼玉、千葉、東京、石川、福井、長野、兵庫、広島

2月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	5,271	102,346	1,541	21,698	6,812	124,044
本籍等の書換え	92	1,521	23	273	115	1,794
写真書換え	8,666	104,577	633	11,761	9,299	116,338
再交付	554	9,397	48	773	602	10,170
計	14,583	217,841	2,245	34,505	16,828	252,346

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

3月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	2,033	815	40.1
乙種第1類	962	762	79.2
乙種第2類	867	667	76.9
乙種第3類	1,215	916	75.4
乙種第4類	22,809	8,547	37.5
乙種第5類	1,164	896	77.0
乙種第6類	1,166	867	74.4
乙種計	28,183	12,655	44.9
丙種	1,594	862	54.1
合計	31,810	14,332	45.1

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、山梨、愛知、滋賀、大阪、兵庫、奈良、鳥取、広島、香川、福岡、長崎、熊本、大分、沖縄

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	136	34	25.0
甲種第1類	1,953	637	32.6
甲種第2類	347	111	32.0
甲種第3類	390	185	47.4
甲種第4類	3,448	1,241	36.0
甲種第5類	364	149	40.9
甲種計	6,638	2,357	35.5
乙種第1類	290	94	32.4
乙種第2類	78	20	25.6
乙種第3類	132	44	33.3
乙種第4類	1,457	503	34.5
乙種第5類	126	58	46.0
乙種第6類	4,131	1,798	43.5
乙種第7類	724	391	54.0
乙種計	6,938	2,908	41.9
合計	13,576	5,265	38.8

□消防設備士試験実施支部等

北海道、青森、秋田、福島、茨城、栃木、東京、神奈川、新潟、石川、山梨、岐阜、三重、京都、大阪、福岡、熊本、沖縄

3月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	12,015	114,361	2,827	24,525	14,842	138,886
本籍等の書換え	196	1,717	29	302	225	2,019
写真書換え	5,333	115,145	1,091	12,852	6,424	127,997
再交付	1,008	10,405	61	834	1,069	11,239
計	18,552	241,628	4,008	38,513	22,560	280,141

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が6・7月にかかる日程分を抜粋）
 ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種	
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
	月日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日									
北海道	7月18日	日	6月8日	6月15日	6月11日	6月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
青森	8月28日	土	7月9日	7月26日	7月12日	7月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	8月29日	日	7月9日	7月26日	7月12日	7月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	9月11日	土	7月9日	7月26日	7月12日	7月29日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
宮城	7月25日	日	6月7日	6月15日	6月10日	6月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	9月12日	日	7月26日	8月3日	7月29日	8月6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
秋田	7月18日	日	6月1日	6月18日	6月4日	6月21日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	7月25日	日	6月1日	6月18日	6月4日	6月21日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
山形	7月17日	土	6月4日	6月14日	6月7日	6月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
埼玉	7月25日	日	6月15日	6月22日	6月18日	6月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
東京	7月18日	日	5月24日	6月4日	5月27日	6月7日					乙4				
	7月25日	日	5月31日	6月11日	6月3日	6月14日					乙4				
	7月31日	土	5月31日	6月11日	6月3日	6月14日					乙4				
	8月9日	月	6月14日	6月25日	6月17日	6月28日					乙4				
	8月14日	土	6月14日	6月25日	6月17日	6月28日					乙4				
	8月21日	土	6月21日	7月2日	6月24日	7月5日					乙4				
	8月22日	日	6月21日	7月2日	6月24日	7月5日		乙1	乙2	乙3		乙5	乙6	丙種	
	8月29日	日	6月25日	7月6日	6月28日	7月9日					乙4				
	9月4日	土	7月5日	7月16日	7月8日	7月19日	甲種								
	9月8日	水	7月5日	7月16日	7月8日	7月19日					乙4				
9月18日	土	7月23日	8月3日	7月26日	8月6日					乙4					
9月26日	日	7月23日	8月3日	7月26日	8月6日					乙4					
神奈川	7月25日	日	6月7日	6月18日	6月10日	6月21日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
新潟	9月5日	日	7月13日	7月30日	7月16日	8月2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
石川	8月28日	土	7月5日	7月12日	7月8日	7月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	9月4日	土	7月5日	7月12日	7月8日	7月15日					乙4				
	9月5日	日	7月5日	7月12日	7月8日	7月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	9月12日	日	7月5日	7月12日	7月8日	7月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	9月19日	日	7月5日	7月12日	7月8日	7月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
福井	8月29日	日	7月9日	7月16日	7月12日	7月19日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
愛知	7月4日	日	5月29日	6月7日	6月1日	6月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	7月11日	日	5月29日	6月7日	6月1日	6月10日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
滋賀	7月31日	土	6月4日	6月8日	6月7日	6月11日					乙4				
	8月1日	日	6月4日	6月8日	6月7日	6月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	8月2日	月	6月4日	6月8日	6月7日	6月11日					乙4				
	8月3日	火	6月4日	6月8日	6月7日	6月11日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
8月4日	水	6月4日	6月8日	6月7日	6月11日					乙4					
奈良	8月22日	日	7月6日	7月13日	7月9日	7月16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
和歌山	7月18日	日	5月22日	5月29日	5月25日	6月1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
徳島	8月7日	土	6月14日	6月22日	6月17日	6月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
沖縄	8月15日	日	7月5日	7月12日	7月8日	7月15日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	

消防設備士試験日程（願書受付が6・7月にかかる日程分を抜粋）
 ※試験日など変更になることがありますので、ホームページ等で確認して下さい。

支部名	試験日		受付期間				甲種					乙種							
			電子申請		書面申請		特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
月日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日														
北海道	7月18日	日	6月8日	6月15日	6月11日	6月18日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
青森	7月10日	土	5月24日	6月7日	5月27日	6月10日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
	7月17日	土	5月24日	6月7日	5月27日	6月10日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
	7月24日	土	5月24日	6月7日	5月27日	6月10日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
岩手	8月21日	土	6月29日	7月6日	7月2日	7月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
	8月28日	土	6月29日	7月6日	7月2日	7月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
宮城	7月11日	日	5月24日	6月1日	5月27日	6月4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
秋田	8月1日	日	6月15日	6月29日	6月18日	7月2日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7

山形	9月11日	土	7月23日	8月2日	7月26日	8月5日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
福島	9月11日	土	7月11日	7月26日	7月14日	7月29日	特類				甲4					乙4			乙7	
	9月12日	日	7月11日	7月26日	7月14日	7月29日		甲1	甲2	甲3		甲5	乙1	乙2	乙3		乙5	乙6		
茨城	8月29日	日	6月21日	7月2日	6月24日	7月5日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
栃木	9月12日	日	7月2日	7月13日	7月5日	7月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
群馬	8月28日	土	7月2日	7月13日	7月5日	7月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5		乙7	
	8月29日	日	7月2日	7月13日	7月5日	7月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
千葉	8月29日	日	6月28日	7月12日	7月1日	7月15日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
東京	7月17日	土	5月24日	6月4日	5月27日	6月7日					甲4									
	7月22日	木	5月24日	6月4日	5月27日	6月7日	特類		甲2	甲3		甲5								
	8月7日	土	6月14日	6月25日	6月17日	6月28日					甲4									
	8月15日	日	6月14日	6月25日	6月17日	6月28日										乙4			乙7	
	8月28日	土	6月25日	7月6日	6月28日	7月9日													乙6	
	9月6日	月	7月5日	7月16日	7月8日	7月19日							乙1	乙2	乙3		乙5			
	9月20日	月	7月23日	8月3日	7月26日	8月6日		甲1												
富山	9月25日	土	7月23日	8月3日	7月26日	8月6日					甲4									
	8月21日	土	6月27日	7月6日	6月30日	7月9日		甲1	甲2			甲5	乙1	乙2		乙4	乙5		乙7	
	8月22日	日	6月27日	7月6日	6月30日	7月9日	特類			甲3	甲4				乙3			乙6		
福井	8月1日	日	6月11日	6月18日	6月14日	6月21日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
山梨	8月29日	日	6月29日	7月6日	7月2日	7月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
長野	8月22日	日	6月26日	7月6日	6月29日	7月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
	8月29日	日	6月26日	7月6日	6月29日	7月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
岐阜	7月11日	日	5月25日	6月4日	5月28日	6月7日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
静岡	8月8日	日	6月11日	6月21日	6月14日	6月24日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
三重	7月25日	日	5月31日	6月11日	6月3日	6月14日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
京都	7月11日	日	5月25日	6月1日	5月28日	6月4日		甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
	7月18日	日	5月25日	6月1日	5月28日	6月4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
大阪	7月25日	日	5月31日	6月7日	6月3日	6月10日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
兵庫	8月7日	土	6月18日	6月28日	6月21日	7月1日					甲4		乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
	8月8日	日	6月18日	6月28日	6月21日	7月1日	特類	甲1	甲2	甲3		甲5								
和歌山	8月22日	日	6月12日	6月19日	6月15日	6月22日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
島根	8月8日	日	6月4日	6月18日	6月7日	6月21日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
岡山	8月22日	日	6月25日	7月5日	6月28日	7月8日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
広島	8月22日	日	6月29日	7月6日	7月2日	7月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
	8月29日	日	6月29日	7月6日	7月2日	7月9日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
山口	9月5日	日	6月29日	7月13日	7月2日	7月16日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
香川	8月29日	日	7月3日	7月12日	7月6日	7月15日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
愛媛	7月31日	土	6月8日	6月18日	6月11日	6月21日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
高知	7月11日	日	5月18日	5月31日	5月21日	6月3日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
佐賀	7月11日	日	5月21日	6月1日	5月24日	6月4日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
長崎	8月29日	日	6月18日	6月29日	6月21日	7月2日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
熊本	9月5日	日	7月9日	7月16日	7月12日	7月19日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
	9月12日	日	7月9日	7月16日	7月12日	7月19日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
大分	8月15日	日	6月26日	7月5日	6月29日	7月8日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
宮崎	8月22日	日	6月21日	7月2日	6月24日	7月5日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	
鹿児島	7月17日	土	5月29日	6月7日	6月1日	6月10日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7	

Voice...

編集後記

2021 May

令和3年度がスタートし、新緑が鮮やかで爽やかな5月となりました。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチンの接種が順次進められるなどしていますが、未だに収束していません。昨年と同様、例年とは様子の違うゴールデンウィークとなりました。

これから梅雨を迎え、夏へと移って行きます。梅雨は免疫力が低下し風邪をひきやすく、また、食中毒も起こりやすくなります。新型コロナウイルスの予防はもとより、健康に十分気をつけましょう。

今年度も引き続き、ご愛読をお願いいたします。

後援:消防庁

資格試験で世界広がる



この挑戦が
未来の自分を強くする。

インターネット
申請OK!



卓球選手
平野 美宇

「人・街を守る」社会に必要とされる国家資格

活躍できる職場 > 危険物取扱者



石油化学工業



自動車工業



塗料業



化粧品業



医薬品工業



食品化学工業



ガソリンスタンド



大型量販店

活躍できる職場 > 消防設備士



建築業



電気工事業



消防設備業



給排水設備業



不動産管理業



防災コンサルタント

消防試験研究センターだより

Voice...

vol.385 令和3年5月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部)/ FAX.03(5511)2751

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <https://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>

